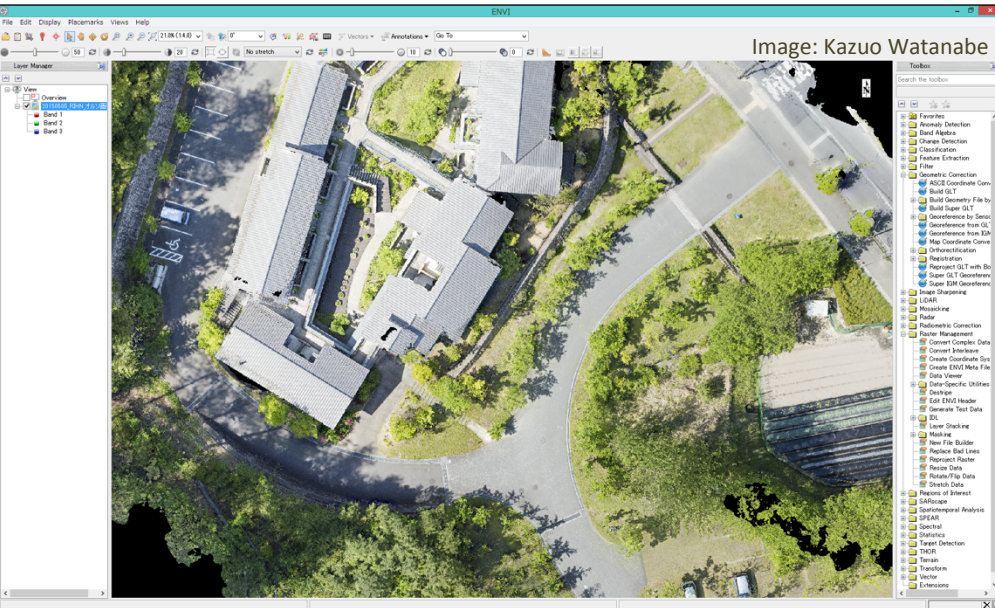


リモートセンシングとドローン 地球環境研究にどう使う？



日時 2015年 6月9日(火) 13:30～17:00

場所 総合地球環境学研究所 セミナー室3・4

プログラム

13:30 趣旨説明「リモートセンシングってなに？ドローンってなに？」近藤康久（地球研）

13:45 事例報告1「ドローンと衛星を活用した地球観測の可能性」渡辺一生（地球研）×Exelis VIS

この2-3年の間に、ドローン（小型無人機）が様々な分野で急速に利用されるようになりました。今後、地球観測の分野では、中・高解像度の衛星画像を用いた広域な空間把握と、超高解像度のドローンを用いた局所的な空間把握とを組み合わせた観測システムの構築が進むと考えられています。本報告では、ドローンを用いた地球研の3次元モデルの作成を事例にしながら、ALOS-2などの最新の地球観測衛星とのベストミックスについて考えてみたいと思います。

14:45 事例報告2「全球時系列衛星画像アーカイブを使ってみる」小寺昭彦（地球研）

もしも誰もが気軽に衛星リモートセンシングと可視化技術を利用できるようになれば、今まで見たかったもの、見えてなかったものが、これまで以上に見えるようになるかもしれません。今回は、そういった活用を目指して作成された、全球時系列画像アーカイブと、研究・調査シーンにおける様々な活用事例、そして「水土の知」プロジェクトの現場での新しい試みについてお話ししたいと思います。

15:15 休憩

15:30 ライトニングトーク（各5分）

1. 「ドキュメンタリー映像における空間使用はどこまで可能か？」臼田乃里子
2. 「ドローンによる空撮技術を用いた湖面の観測」上原佳敏（地球研）
3. 「4D-IMADAS-GGRFとUAVカメラキャリブレーション」長谷川博幸（ジオネット）
4. 「ドローンを利用した森林樹冠計測」小野田雄介（京都大学）
5. 「3Dモデリングで測る植物の成長」浅野悟史（地球研）
6. 「多様化するリモートセンシングデータの有効活用と現状の検討課題」山下浩二（Exelis VIS）

16:00 全体討論「リモートセンシングとドローン、地球環境研究にどう使う？」司会：近藤康久